

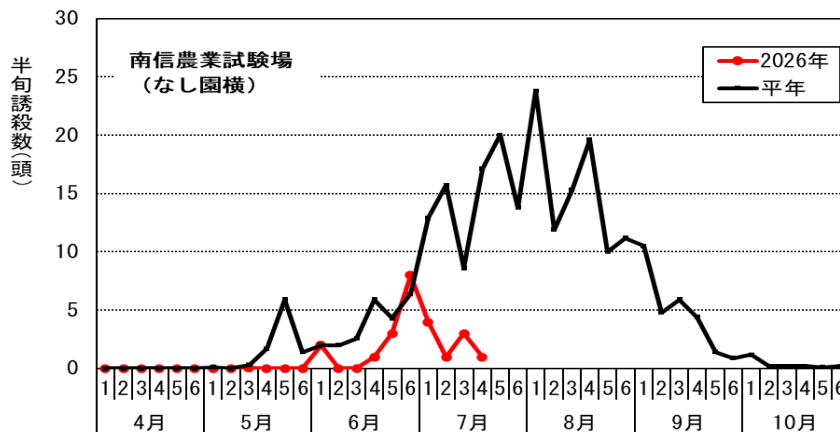
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長〔令和8年((2026年)調査〕

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○県予察ほ（高森町・南信農業試験場）



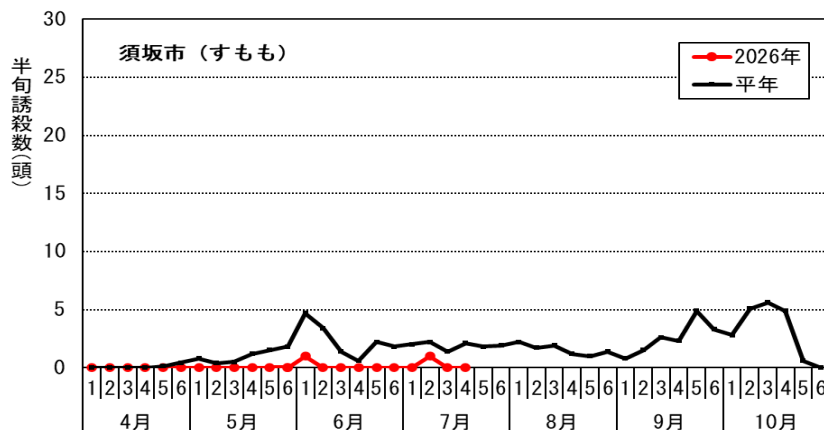
【調査地点】(標高 560m なし園隣接地)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・平年より誘殺される頭数が少ない。6月後半から誘殺が増え始めたが、7月に入り減少した。平年であれば盛夏期に向けて大きく増加していくが、7月第4半旬時点でその傾向はみられていない。

○須坂市（病害虫防除部）



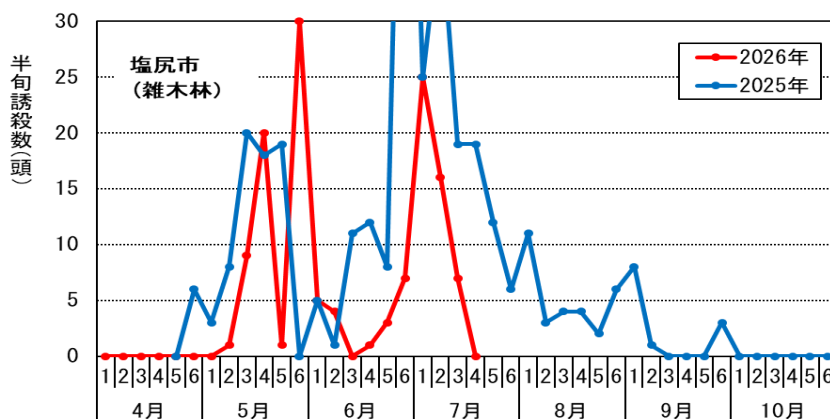
【調査地点】(標高 370m すももほ場)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・6月第1半旬に今年度初めて誘殺されて以降は、7月第2半旬に1頭誘殺された以外は誘殺されない状況が続いている。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】(標高 560m 雑木林)

- ・2025年から設置のため、平年値なし
- ・雑木林内に設置

【コメント】

・6月下旬から7月上旬にかけて誘殺が多かったのは、昨年同様の傾向となっている。昨年は誘殺がなくなったのは10月になってからであるが、本年は7月中旬からの減少により、第4半旬に0となっている。